



2021年10月6日

久保田 崇 掛川市長 様

久保田市長 様

お元気にお過ごしのことと存じます。

すでにご存じのことと思いますが、2021年10月8日（金）午後5時（米国東部標準時間）よりコーニング市にあるデニソン公園に新しく寄贈された「ロータリー桜の道」において簡単な式典が執り行われます。このセレモニーは、新しいトレイルの第2木立（グローブ）を掛川市の姉妹都市に寄贈するために行われます。

「ロータリー桜の道」は、クラブ創立100周年を迎えたコーニング・ロータリー・クラブの100周年記念プロジェクトです。ロータリーはコーニング市と協力してこのプロジェクトを完成させ、2021年9月22日に寄贈しました。

8つの木立で構成されるこの桜の道（トレイル）のうちの一つの木立を我々の親愛なる姉妹都市である掛川市に捧げるというアイデアは、2014年8月に掛川市からコーニング市に友情を込めて桜の木を贈ったことから生まれました。その時寄贈された桜の木はソメイヨシノで、現在も元気に育っていますが、デニソン公園内にぽつんと立っているのも地元の日本人の友人曰く、「寂しそう」に見えるのです。

その木を移植して新しいトレイルの「ファースト・ツリー」とし、両市の長い友好関係を称えようというのが当初の考えでした。しかし、樹木医に調べてもらったところ、この木を動かすことは木の健康を損なう可能性があるかと判断されました。

そこで、姉妹都市である掛川に敬意を表したいという思いから、コーニング・掛川姉妹都市委員会に「第 2 グローブを掛川に捧げよう」と提案しました。彼らは熱心に取り組んでくれ、今週の金曜日に贈呈式を予定してくれたのです。

私は、日本の精神を反映した、シンプルでエレガントな式にしたいと考えています。そのため、正式な式次第はありません。私の簡単な挨拶の後、掛川姉妹都市委員会の代表者が挨拶します。もし、あなた様からご挨拶を頂けるようでしたら、式典内で披露できるので、大変光栄です。

あなたの街にある桜はとても美しいと思います。これから先、桜が持つ美しさと平穏さを自分たちの桜で楽しめることにこの上ない喜びを感じております。いつかこのコーニングで、「桜の道」と「掛川木立」を見ていただけたらとても光栄です。

最後になりましたが、現在のこの困難な状況下、私と一緒に両都市の長くて幸せな絆をさらに深めていきましょう。

よろしく申し上げます。

ウィリアム・M・ボーランド・ジュニア (William M. Boland, Jr.)
コーニング市 市長

